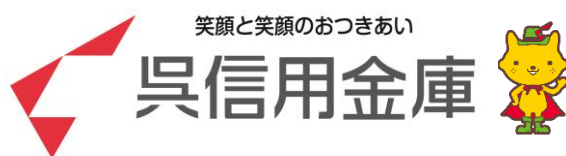


2023年5月25日

## 2022年度決算等に関するプレス資料

1. 損益の状況
2. 営業活動の状況
3. 健全性指標
4. 2023年度の計数計画



## 1. 損益の状況

### ○経常収益

売上高にあたる経常収益は、前期比 1.4%増加の 103 億 59 百万円となりました。

貸出金利回低下の影響を受け、貸出金利息収入が減少したものの、低利率の債券の入替等により、有価証券利息配当金が増加し、資金利益が増加いたしました。これに加えて「伴走型」営業の実践により役務取引等収益が増加し、役務取引等利益も増加した結果、経常収益は増加いたしました。

### ○経常費用

経常費用は、前期比 5.2%減少の 84 億 31 百万円となりました。

貸出金不良債権処理額の減少に加えて、経費も減少したことにより、経常費用は減少いたしました。

### ○経常利益、当期純利益

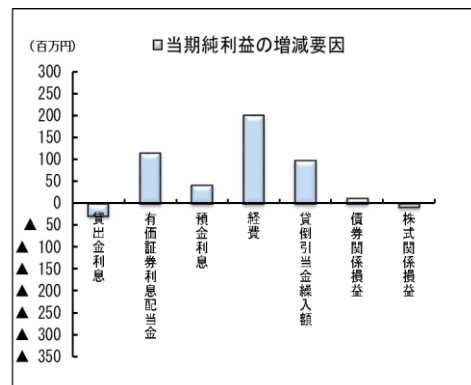
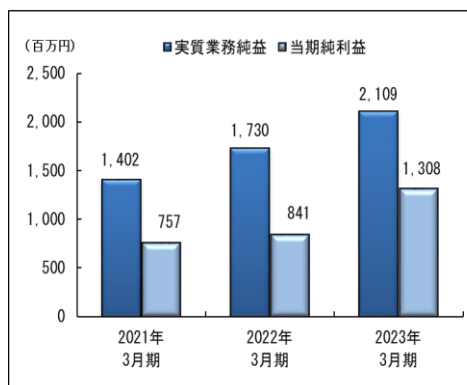
その結果、経常利益は前期比 46.7%増加の 19 億 27 百万円、当期純利益は 55.4%増加の 13 億 8 百万円となりました。

### ○実質業務純益

本業の収益を示す実質業務純益は、有価証券利息配当金の増加や経費の減少等により 21.8%増加の 21 億 9 百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	前期比	
				前期比	増減率
実質業務純益	1,402	1,730	<b>2,109</b>	378	21.8
資金利益	8,186	8,389	<b>8,520</b>	131	1.5
貸出金利息	6,522	6,467	<b>6,437</b>	▲ 29	▲ 0.4
有価証券利息配当金	1,681	1,895	<b>2,011</b>	115	6.0
預金利息	286	233	<b>192</b>	▲ 41	▲ 17.6
役務取引等利益	99	3	<b>25</b>	22	715.4
その他業務利益	46	78	<b>102</b>	24	30.6
経費	6,930	6,740	<b>6,538</b>	▲ 201	▲ 2.9
貸倒引当金繰入額	378	324	<b>227</b>	▲ 97	▲ 29.8
経常収益	10,137	10,213	<b>10,359</b>	145	1.4
経常費用	9,111	8,899	<b>8,431</b>	▲ 468	▲ 5.2
経常利益	1,025	1,313	<b>1,927</b>	614	46.7
当期純利益	757	841	<b>1,308</b>	466	55.4

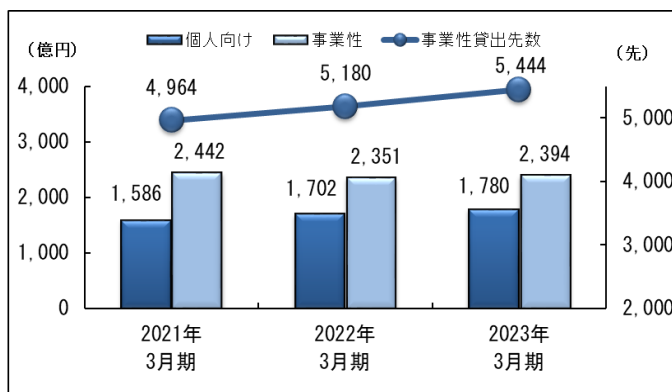
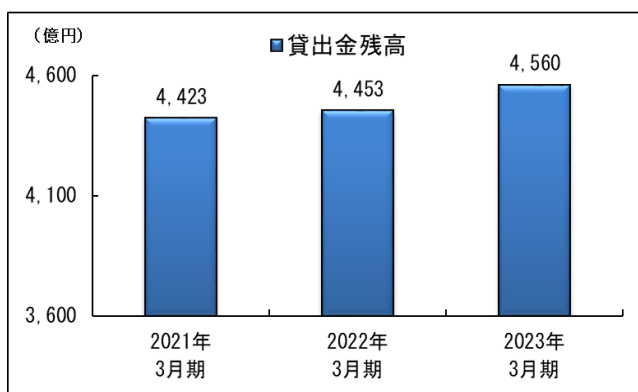


## 2. 営業活動の状況

### ○貸出金

貸出金は、伴走型営業を通じた金融支援や、ローンセンターによる住宅ローンの推進等により、**期末残高は前期比 2.3%増加の 4,560 億円となり、10 期連続で増加**しました。

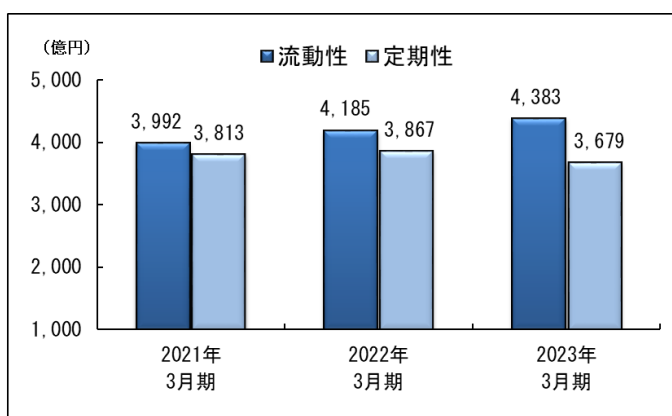
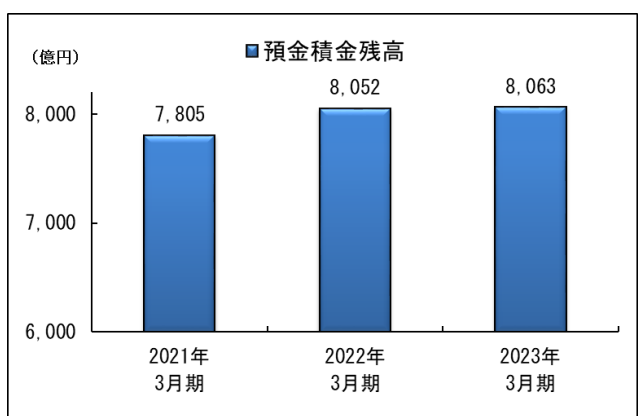
事業性の貸出先数は、広島地区における新規開拓活動の強化等により、**5.0%増加の 5,444 先**となりました。



※ 事業性貸出先には、地公体、金融機関向け貸出を含んでいません。

### ○預金積金

預金積金は、給与・年金振込や口座振替、インターネットバンキング契約の推進に加え、「インターネット支店開設 5 周年記念定期預金」を発売などの営業活動に取り組んだ結果、**期末残高は前期比 0.1%増加の 8,063 億円と 6 期連続の増加**となりました。

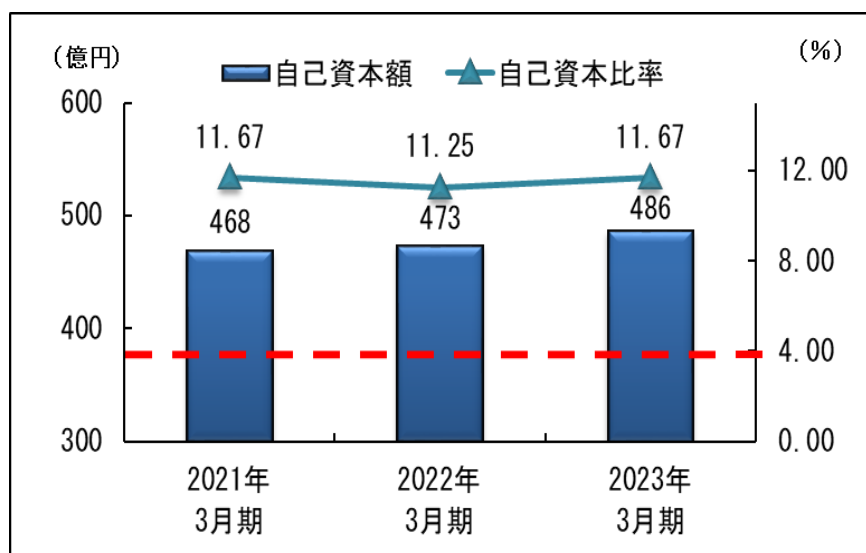


### 3. 健全性指標

#### ○自己資本比率

自己資本額が前期比 2.5%増加したことに加え、リスク・アセット等が 1.0%低下したことにより、自己資本比率は 0.42 ポイント上昇し 11.67%となりました。

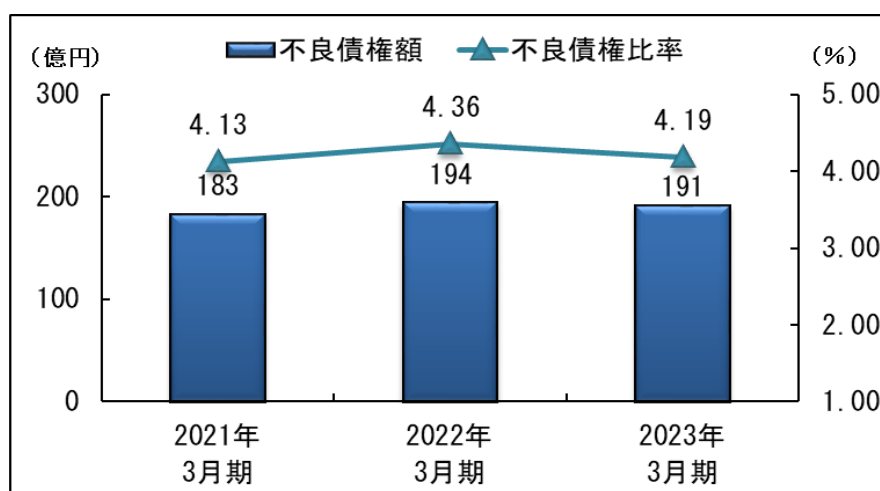
これは、国内業務のみを行う金融機関に必要とされる基準（4%）を大幅に上回っており、健全性に問題はありません。



#### ○不良債権比率

貸出金が増加したことに加えて、業況が低調な取引先への支援に取り組んだ結果、不良債権額は前期比 1.6%減少の 191 億円、不良債権比率は前期比 0.17 ポイント低下の 4.19%となりました。

なお、これらの不良債権は、担保や貸倒引当金等で適切に保全を図っており、備えは万全です。



#### 4. 2023 年度の計数計画

##### ○経常収益

役務取引等収益や、有価証券利息配当金等の業務収益の減少により、**経常収益は前期比 1.4%減少の 102 億 11 百万円**を見込んでいます。

##### ○経常費用

役務取引等費用の増加に加え、貸出金不良債権処理額の増加を見込んでおり、**経常費用は前期比 2.5%増加の 86 億 42 百万円**を見込んでいます。

##### ○経常利益、当期純利益

その結果、**経常利益は前期比 18.6%減少の 15 億 68 百万円**、**当期純利益は前期比 14.3%減少の 11 億 21 百万円**を見込んでおります。

##### ○実質業務純益

なお、本業の収益を示す**実質業務純益は、前期比 15.2%減少の 17 億 87 百万円**を見込んでいます。

##### ○2023 年度経営計画

2023 年度においても、お客さまや地域の課題解決に向けた伴走型のお客さま支援を実践することにより、地域金融機関としての役割を果たしていきたいと考えており、**預金積金残高は 8,080 億円（7 期連続の増加）、貸出金残高は 4,610 億円（11 期連続の増加）**を計画しています。

(単位:百万円、%)

	2023年 3月期	2024年 3月期	前期比	増減率
実質業務純益	2,109	<b>1,787</b>	▲ 322	▲ 15.2
資金利益	8,520	<b>8,455</b>	▲ 64	▲ 0.7
貸出金利息	6,437	<b>6,450</b>	12	0.1
有価証券利息配当金	2,011	<b>1,950</b>	▲ 61	▲ 3.0
預金利息	192	<b>186</b>	▲ 5	▲ 2.8
役務取引等利益	25	<b>▲ 148</b>	▲ 173	▲ 680.0
貸倒引当金繰入額	227	<b>330</b>	102	45.0
経常収益	10,359	<b>10,211</b>	▲ 148	▲ 1.4
経常費用	8,431	<b>8,642</b>	211	2.5
経常利益	1,927	<b>1,568</b>	▲ 359	▲ 18.6
当期純利益	1,308	<b>1,121</b>	▲ 187	▲ 14.3

以 上